

平成 29 年 4 月 25 日  
金沢市保健所地域保健課  
担当：本吉・加藤  
電話：076-234-5102

(記者資料提供)

## 麻しん患者の発生について（第 4 報）

4 月 24 日夜、石川県南加賀保健所から金沢市保健所に、麻しん陽性と判明した患者について連絡がありました。当該患者は、4 月 10 日に発症した初発患者（インドから帰国した麻しん患者）が、4 月 7 日に来店していた金沢市内の写真店で勤務していました。

今後、感染がさらに拡大する可能性がありますので、広く情報提供するとともに、感染の拡大防止のため、注意を喚起するものです。

1. 患者の概要 10 代 女性 石川県小松市在住

### 2. 発生経過等

4 月 23 日 夕方に発熱 37.7℃、夜中には 39.1℃の発熱

4 月 24 日 午前 小松市内のクリニックに受診 午後 小松市内の病院を受診  
夕方 遺伝子検査の結果、麻しんと判明 夜 金沢市保健所が連絡を受ける

【特記】患者及び家族等の個人情報について、プライバシーの保護の観点から、提供資料の範囲での報道をお願いします。

## ●金沢市からのお願い

### 1. 症状があるときの対応

症状から「麻しん」が疑われた場合、必ず事前に医療機関に連絡のうえ、その指示に従って、速やかに受診して下さい。また、受診の際は、周囲の方に感染させないように、公共交通機関等の利用を避けて下さい。

### 2. 予防接種歴についての確認

(1) 平成 2 年 4 月 2 日以降に生まれた方は、麻しんの予防接種を 2 回受ける機会があったため、感染の可能性は低いですが、母子手帳で 2 回接種が済んでいるかをご確認ください。

(2) 平成 2 年 4 月 1 日以前に生まれた方は、幼児期に 1 回予防接種を受けてから相当の年月が経過しているため、感染防御のための十分な免疫がない可能性があります。医療機関にご相談の上、ワクチン接種をお勧めします。

3. ご不明な点やご相談等は、金沢市保健所またはお住まいの地域の保健所にご連絡ください。

### 【麻しんの症状】

- ① 潜伏期間（感染者と接触してから症状が出るまでの期間）は概ね 10 日から 12 日程度
- ② 初期症状は、発熱や咳・鼻水などの風邪症状や、目の充血、関節痛など様々な症状で、一旦解熱した後、再び高熱が出ると同時に全身に発しんが出現し、4～5 日高熱が続く
- ③ 感染期間は、上記の風邪症状が出現する 1 日前から解熱後 3 日程度
- ④ 麻しんワクチンを 1 回のみ接種している場合、典型的ではない症状を呈することがあるため（修飾麻しん）、風邪と誤っていても実際には麻しんの可能性があるため注意が必要。

### 緊急研修会（麻しん感染拡大防止）を開催します

今後、更なる麻しん感染の拡大が懸念されるため、国立感染症研究所の実施疫学専門家養成コース（FETP）に専門職員の派遣を依頼、本日 4 名の専門家が金沢入りし、これまでの経過の検証と今後の対応策を検討します。

また、今夜、専門的・技術的な観点から関係者向けの緊急研修会を実施します。

日 時：平成 29 年 4 月 25 日（火）19：30～20：30

場 所：金沢市保健所 3 階 すこやかホール（金沢市西念 3-4-25）

参 加 者：病院、診療所の医師など医療関係者、関係行政職員、など

金沢市における麻しん感染の経過報告 金沢市保健局 局長 越田 理恵

麻しん感染の拡大防止に関する研修 国立感染症研究所感染症疫学センター 第三室長 多屋 馨子 先生

【問い合わせ先】 金沢市役所 健康政策課 担当 中島（TEL：220-2233 FAX：220-2231）